

[工]学部1年男子の 合格体験記

自己紹介

私は、工学部化学・バイオ工学科の1年です！福島県立福島南高校出身です。好きな食べ物は、甘いものです。あとオムライスとか。食べることって大切ですよね。AOⅡ期入試で入学しました。

東北大を志望した時期とその理由

志望した時期： 高校3年の夏

理由： 高校3年生の夏に志望しました。もともと大学に興味がなかったので、何も意識していなかったのですが、高校で課外活動などをたくさん参加してきました。そのことを強みにして勝負してみようかなと思って、出願資料、学力試験、面接の3要素から判定されるAOⅡ期入試にチャレンジしました。

受験期の勉強方法

毎日夜遅くまで学校に残って、未履修範囲をなくすことに重きを置きました。なぜなら、試験が11月に行われるが、数学、理科、英語の全範囲が試験範囲だからです。AOⅡ期は、現役生しか受けることができないため、履修範囲を早めになくすことが合格への近道なのです。早めに未履修範囲をなくした後は、AOⅡ期の過去問はもちろん、その難易度にあった大学の過去問をたくさん解き、先生と解答を議論しました。出願資料は、調査書、志願理由書、活動報告書があります。一字一句まで間違いがないように推敲を重ねました。活動報告書には、自分がやってきた活動を重要度の順番に書いていきます。資料等を添付できるので、論文や新聞記事はとっておくとよいでしょう。

モチベーションの保ち方

人に負けないことですかね。自分の高校のレベルでいうと、高校でトップにいないと東北大学は厳しかったので、友達に何を質問されても答えられるように教科書などの隅っこまで覚えて、楽しんでいました。定期テストで、当たっている人が1人だとうれしいですもんね！あとは妥協しないことです。暗記事項で満点取れて当たり前。そんな気持ちを持ってみては？

受験直前～当日

入試前日は、お世話になった先生に挨拶をして、「楽しんでこい！！」と多くの先生からエールをもらいました。そして一番仲の良かった先生とは、下校時間を過ぎても受験とは関係ない笑い話をして、受験は全く意識していませんでした。当日は、新幹線で受験会場に向かい、ユメタンという単語帳で声を出すことで、英語の頭に切り替えて、有機化学の参考書で構造決定のフローチャートを確認していました。2日目の面接後、パンケーキを食べに行ったのが思い出です。

【国際交流】

私は、外国から仙台にやってきた大学生の方の案内をしています。これまでは、中国やタイの大学の方々がいらして、東北大で多くの模擬授業を受けたり、白石城や丸森町に行き、日本の文化体験をしたりととても充実していました。留学生ではないので、すぐお別れになってしまいますが、1週間で仙台や日本の魅力を伝えることはとても充実しています。もちろん、東北大学の留学生とも交流を深めています。高校までに知り合った友達ともつながっています。中学校や高校で国際交流をたくさんやりましょう。何事も慣れは大事です。(笑)

【アルバイト】

私は、予備校でアルバイトをしています。担当の生徒と面談をして、悩みや進路について考えたり、わからない問題の質問を受けたりしています。勉強の意欲が高まるような掲示物を作ったり、文書をつくる中で、通常の生活では得られないスキルが身につくと思います。また、勉強以外の話でもすごく盛り上がるので、いつも勤務するのが楽しみです。アドバイスしている生徒たちの成績が上がると、とてもやりがいを感じます。定期的に、ホワイトボードで解説したりもするので、普通の塾よりも充実していると感じます。

受験生へのメッセージ

好きな人ができたら想いを伝えるのと同じように、今の生活に後悔しないこと！

そして、目標決めたら、最後の最後の最後の最後の最後まであきらめてはいけません！！

